

南光台学院 公開講座

語り芝居

宮沢賢治作品集より **「よだかの星」**

【出演】

語り・茅根 利安（ちのね としやす）
楽師・只野 展也（ただの のぶや）
他1名

語り芝居とは…

「物語を読む」のではなく「物語を語る」という手法で作品世界を表現。俳優が物語の登場人物の人生を背負い、その魂を伝えようとするアプローチをする、演出家であり能楽プロデューサーである笠井賢一氏が能と演劇の両面から導き出した表現方法。

費用：無料

持ち物：上履き

令和2年 12月18日(金)

① 10:00～11:30 開場 9:30

② 13:30～15:00 開場 13:00

※①②ともに同じ内容です。

会場：南光台市民センター 1階 ホール

各回 20名程度【先着】

申込：12月1日(火) 10:00より

電話・窓口にて

【申込・お問合せ】

南光台市民センター

泉区南光台 7-1-30

TEL：253-1023

*ご来場の際はご自宅での検温・マスク着用・手指消毒にご協力ください。

*開場時間に合わせてご来場ください。

*今後の状況により、やむを得ず変更や中止となる場合がございます。

【出演者紹介】



語り 茅根利安 ちのねとしやす

俳優 演出家 ナレーター

仙台市出身 1979年「劇団 I.Q150」を旗揚げ、26年間同劇団の舞台に立ち、パルテノン多摩小劇場フェスティバル優勝、下北沢演劇祭、愛知県芸術劇場フェスティバルなどを経験する。1999年宮城県芸術選奨新人賞受賞。2011年東日本大震災を契機に心の復興を芸術面で支援する「ココロノキンセンアワー」を結成し、佃典彦の「カレー屋の女」をソウル、東京、仙台他東北各地で上演、Alice 特別賞を受賞する。2014年からはTamat project「ノスタルギガントス」「ハムレッツ」や「言葉の海へ」高田宏作 笠井賢一演出に出演し東京と東北を結んでいる。仙台フィルハーモニー管弦楽団チェロ奏者の山本純氏との語り芝居「セロ弾きのゴーシュ」宮沢賢治作はロングランを続けている。2018年には、劇都仙台ミュージカルシアターの総合監修に就任し2019年12月「おかえり、ケヤキ食堂」を上演。また、「奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊」仙台市、「HAPPY ふくしま隊」福島県のプロデュース、演出やヒューマンアカデミー仙台校非常勤講師として俳優の育成にも力を入れている。

楽師 只野展也 ただののぶや

音楽家

1982年よりスタジオプレイヤーとして音楽活動を始め、様々なアーティストやバンドのコンサートツアーなどにも参加する。作編曲、演奏、録音とトータルな音楽制作を軸とし、番組音楽、CM音楽などメディア系音楽も多数手がけ、主に仙台、東京、中部地区にて創作、演奏活動を続け現在に至る。作風はジャンルに捉われない独特の色彩感を持つ。

また演劇の音楽制作も多く手掛け、劇団 I.Q150 や劇団わらび座、SCS ミュージカル研究所、塩竈夢ミュージカル、劇都せんだい・ミュージカルシアター、ココロノキンセンアワーなどに楽曲を提供する他、生演奏で自らも舞台に出演している。



《本講座のお申込みに際しまして》

＊お申込み時にお伺いします個人情報、講座案内や連絡以外には使用しません。

＊講座風景を撮影し、センターだよりやホームページ等へ掲載する場合がございます。

＊南光台市民センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下を実施しております。

- 職員の検温・マスク着用・手指消毒
- 館内（諸室、トイレ、手すり、スイッチを含む）の定期的な消毒
- 諸室の窓を開けての換気